

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2018 AUTOBACS SUPER GT Report

SUZUKA GT 300km RACE

第3戦 鈴鹿サーキット

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆5月25日（土） QUALIFY

公式予選総合結果 14位



詰めかけた満場のファンを盛り上げる激しいドッグファイトを制し、ZENT CERUMO LC500 が劇的な優勝を飾った第2戦富士から約3週間。2019年のSUPER GTは舞台を三重県の鈴鹿サーキットに移し、第3戦のレースウィークを迎えた。2016年にもチームは鈴鹿で勝利を飾っており、決して不得意なコースではない。ただ、気になるのは第2戦の勝利で積み

なければならないウエイトハンデ。今回43kgを積み、GT500クラスで2番目に重いハンデで走らなければならない。

迎えた5月25日（土）の予選日は、5月とは思えぬ真夏のような陽気となった。これまで今季SUPER GTはいずれも雨がらみのレースだったため、晴天は誰もが待ち望んでいたものだったが、それにしても季節外れのような暑さだ。

そんななか、午前8時50分にスタートした公式練習で、ZENT CERUMO LC500は立川祐路がステアリングを握りコースイン。セットアップの確認や、この暑さのなかで重要と言えたタイヤの比較を行っていく。ZENT CERUMO LC500のバランスは良好で、コーナリングは相変わらずシャープだ。

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

RESEAL

JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ自動車

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MECHANIX WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

しかし ZENT CERUMO LC500 は、なぜかストレートスピードにいまひとつ伸びがない。コーナーが連続する鈴鹿ではあるが、バックストレートやメインストレートなど、やはりストレートスピードは重要だ。LEXUS TEAM ZENT CERUMO は石浦宏明に交代しながらチェックを進めるが、原因はいまひとつ明らかにならない。

最終的に ZENT CERUMO LC500 は立川が 15 周、石浦が 14 周をこなし、石浦がマークした 1 分 47 秒 839 で 5 番手という位置で公式練習を終えた。順位は悪くないが、ストレートスピードが伸びないトラブルは解消していない。一抹の不安を抱えたまま、午後 2 時 40 分からスタートした公式予選に挑むことになった。



相変わらずの暑さのなか、午後 3 時にコースオープンとなった GT500 クラスの Q1 で、アタッカーを務めたのは石浦。残り 7 分となって他の GT500 車両とともにコースに入った石浦は、じっくりとタイヤを温め、3 周目に ZENT CERUMO LC500 をアタックラップに突入させていく。記録したタイムは 1 分 47 秒 289。この時点で 7 番手だ。Q1 突破には 8 番手以上に入らなければならないが……。



しかしその後、ライバルたちがタイムを刻みだすと、ZENT CERUMO LC500 のポジションはひとつ、またひとつと下がっていった。最終的に全車がチェッカーを受けると、ZENT CERUMO LC500 の順位は 14 番手。まさかの予選順位から 5 月 26 日（日）の決勝を戦うことになってしまった。石浦のアタックはまったく問題ないものだったが、やはり午前中から起きていたストレートスピードが伸びないトラブルがタイムを損なっていたのだ。

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

RESEAL

Jms

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MECHANIX WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ウエイトハンデはあるものの、ストレートスピードさえ取り戻せればまだまだ戦えるはず。それに何より、目標のタイトル争いのためには、こんなところでつまづいているわけにはいかない。LEXUS TEAM ZENT CERUMO は早急にトラブルの原因を突き止め、決勝で追い上げをみせるべく作業に入った。

ドライバー／立川祐路

「公式練習からいつもどおりセットアップとタイヤの比較を行っていき、通常どおりの流れで進めていきました。クルマのフィーリングも暑さ、ウエイトへのアジャスト程度で石浦選手に交代する流れでしたが、アタックシミュレーションではストレートでタイムロスしている部分がありましたね。予選でもそれが響いてしまったのが大きいと思います。今日は残念な結果でしたが、大事なのは明日のレース。ストレートがなぜ遅いのかをしっかりと原因を突き止め、追いつけるレースができればと思っています」

ドライバー／石浦宏明

「午前の公式練習は立川選手からマシンを引き継ぎ、バランスをセット変更しながら改良を進めていきましたが、悪いフィーリングではなかったです。午後の予選に向けて手ごたえを感じていたのですが、データ上でも出ていたストレートスピードが伸びない症状を抱えたまま午後の予選に臨まざるを得ませんでした。やはりその部分でタイムロスをしてしまい、フィーリングは悪くなかったものの、Q1 突破にはタイムが足りませんでした。原因を究明してくれていますが、それが解決すればレクサス勢が速さをみせているので、追い上げも可能だと思っています。あきらめずに頑張っていきたいと思っています」

立川祐路総監督

「第2戦での優勝はみんなの頑張りと、皆さんの応援によるものでしたが、今回はウエイトハンデもあり苦しいレースになるかと思っていました。ただクルマのフィーリングは思いのほか良く、戦える印象があっただけに、予選結果は残念なものになってしまいました。ただ、こういう苦しいときにいかにポイントを持ち帰れるかがタイトル争いには重要だと思っています。明日はしっかり追い上げ、ポイントを獲得するようにチーム一丸となって頑張りたいと思います」



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

村田淳一監督

「残念な結果になってしまいましたね。ウェイトハンデの影響なのかは分かりませんが、他の LC500 勢と差がありました。現在エンジニア、TRD にも解析してもらっていますが、なんとか解決して決勝までに盛り返したいと思っています。この予選順位とは言え、しっかりとポイントを獲得し続けなければ、目標には届きませんから。なんとかレースではしっかり入賞できるように頑張りたいと思います」



ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

REUSEL

JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MECHANIX WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	36	au TOM'S LC500	1'46.808	1'45.775
2	37	KeePer TOM'S LC500	1'46.311	1'47.788
3	8	ARTA NSX-GT	1'45.916	1'46.207
4	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'46.928	1'46.216
5	6	WAKO'S 4CR LC500	1'46.144	1'46.246
6	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'46.821	1'46.462
7	1	RAYBRIG NSX-GT	1'46.740	1'46.519
8	17	KEIHIN NSX-GT	1'46.350	1'46.580
9	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'46.949	
10	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'47.076	
11	19	WedsSport ADVAN LC500	1'47.124	
12	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'47.177	
13	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1'47.185	
14	38	ZENT CERUMO LC500	1'47.289	
15	64	Modulo Epson NSX-GT	1'48.150	

ZENT

